

蒼潮

第13号

(平成26年7月)

長崎県漁業士連絡協議会

< 漁業士認定授与式 >

平成26年5月20日(火)、知事特別応接室にて漁業士認定授与式が執り行われ、平成25年度に認定された15名の漁業士が、中村知事より認定証を授与されました。また、同日午後には長崎ワシントンホテルで懇談会が開催され、下山水産部長から漁業士記章が渡されたあと水産部幹部職員との間で意見交換がなされました。

新しい仲間を加え、長崎県漁業士連絡協議会の会員は157名となりました。新しく認定された方々については次ページにて紹介しておりますので、皆様よろしく願います。



< 新漁業士紹介 >

指導漁業士



とら よしひこ
戸浦 善彦
【所属漁協】瀬川漁協
【漁業種類】曳網



みやざき まさたか
宮崎 正孝
【所属漁協】有家町漁協
【漁業種類】一本釣、延縄



ふくだ みきお
福田 美記雄
【所属漁協】
島原半島南部漁協
【漁業種類】流し網、刺網



くだまつ さとし
下松 哲
【所属漁協】新松浦漁協
【漁業種類】魚類養殖



ますや まさる
榎屋 勝
【所属漁協】新松浦漁協
【漁業種類】魚類養殖



なかむら よしたか
中村 義孝
【所属漁協】
宇久小値賀漁協
【漁業種類】刺網、一本釣



なご かつよし
長尾 勝吉
【所属漁協】
佐世保市相浦漁協
【漁業種類】一本釣、延縄



やました やすろう
山下 安郎
【所属漁協】神部漁協
【漁業種類】魚類養殖

青年漁業士



おおつぼ ゆきお
大坪 幸雄
【所属漁協】神部漁協
【漁業種類】魚類養殖



まきしま ゆう
牧島 裕
【所属漁協】
長崎市たちばな漁協
【漁業種類】魚類養殖



まえだ きくじ
前田 菊治
【所属漁協】
長崎市新三重漁協
【漁業種類】刺網、採介



やまさき まさのり
山崎 政則
【所属漁協】新松浦漁協
【漁業種類】小型定置



かわうえ あつし
川上 敦史
【所属漁協】五島漁協
【漁業種類】小型定置



たにがわ けんいち
谷川 賢一
【所属漁協】五島漁協
【漁業種類】小型定置



おかの せいご
岡野 誠吾
【所属漁協】峰町東部漁協
【漁業種類】定置、魚類養殖

長崎地区漁業士会

< 水産教室の開催 >

長崎地区漁業士会（会員32名）では、若い世代に水産業への理解と親しみを持ってもらうとともに、魚料理のおいしさを伝えることを目的に、小中学校生・高校生を対象にした水産教室を開催しています。

平成25年度は、6つの学校で地域漁業の講話、養殖魚への餌やり体験、ロープの結び方実習、魚の解剖や調理実習などを内容とした水産教室を開催しました。

平成25年度水産教室

実施時期	開催場所	主な内容
11月1日	西海市立大島東小学校	養殖魚への餌やり体験、ロープワーク実習、魚の調理・巻き寿司実習
11月13日 14日	西海市立大崎中学校	魚の三枚おろし実習 すり身づくり調理実習
1月20日	長崎市立野母崎小学校	魚の解剖実習
1月30日	長崎県立大崎高等学校	長崎の漁業の講話、魚等の調理実習
2月5日	精道三川台高等学校	長崎の漁業の講話、魚の調理実習
2月18日	長崎市立長崎中学校	魚の解剖実習、魚の調理実習



大島東小学校



大崎中学校



野母崎小学校



大崎高等学校



精道三川台高等学校



長崎中学校

< 関係者との意見交換会の実施 >

長崎県における漁業は地域の基幹産業であるが、魚価低迷、漁獲量の減少、燃油や資材等の高騰などにより厳しい経営環境となっています。

このような経営環境の中、漁業就業者の減少等も顕著になっており、地域の過疎化を始め地域の活力低下に繋がっています。

これまでも、漁業者は経営環境の変化に対応するため、いろいろな創意工夫のもと漁業を行ってきましたが、漁家経営が安定するまでには至っていない状況にあります。

地域の活力を向上させていくためには、漁業の活性化が必要であり、そのためには「もうかる漁業」をいかに創出していくかが鍵となることから、これまでと異なった視点やアイデアによる取り組みが必要となっています。

このため、今後の取り組みの参考とするため、関係者との意見交換会を実施しました。

1 長崎大学水産学部学生

平成25年9月30日に、長崎大学水産学部の学生と漁業士との意見交換会を長崎大学水産学部大会議室で開催しました。

2名の漁業士から地域の概要、漁法、魚種、操業サイクル、出荷体制等の現状や課題について話題提供し、「もうかる漁業（地域の活性化）への取り組み」について意見交換を行いました。

学生からは「イケメン漁師などでグループ（RYOSHI）を結成し、ポスターを作ってはどうか。イベントなどにこのグループを掲載することで、若い女性の関心を呼び寄せられるのではないか。」といった宣伝方法のほか、ブランド化や流通などに関する意見がありました。

2 長崎市長

平成26年2月20日に、長崎市の田上市長と長崎市内の漁業士との意見交換会を長崎市職員会館で開催しました。お互いに構えることなく、感じたこと、思ったことを話しやすいように、和室でテーブルを囲んで行いました。

各漁業士から漁業の現状、複合経営・付加価値向上・流通・加工・磯焼け対策についての取り組み事例を紹介し、意見交換を行いました。

このような様々な課題について話す機会を設けること、一緒に取り組むことが大事であることを再認識しました。

今後もこのような場を持ちたいとの市長からの意見もあり、漁業士会としては、少しでも良くなったという話ができるよう、頑張っていきたいという思いを強くしました。



意見交換（左：長崎大学水産学部学生、右：田上長崎市長）

< 漁業技術交流会の開催 >

漁業士実践活動の一環として、漁業者間の技術交流と情報の共有を目的に漁業技術交流会を年2回開催しました。

平成26年3月25日に開催した第2回交流会では、水産試験場海洋資源科の甲斐科長よりカツオ資源動向及び漁具漁法についてご講演いただきました。これは、五島周辺海域では他県船によるカツオの漁獲が進んでいる一方、長崎県船による漁獲がほとんど行われていないということが背景になっています。生き餌の確保、操業技術の習得などの課題は残りますが、五島地域にカツオ釣り漁業を導入する上で非常に興味深い内容でした。

また、久保満弘青年漁業士より、クーラーボックスを用いた活魚出荷についての視察結果の報告がありました。これは、五島～博多を結ぶフェリーで活魚出荷を行う佐世保市宇久島の中村漁業士の取組を学んできたものです。中村漁業士によると、出荷量は少量であっても、継続して出荷を行うことで買い手が付き、高値での取引が可能になるとのことでした。まずは五島地域でも試験的に取り組み、販路拡大につなげていきたいと思えます。

同交流会は継続して開催していき、新しい鮮魚販売の紹介や視察研修結果の報告など、漁業経営の安定につながる内容にしていきたいと考えています。



第2回交流会 平成26年3月25日

「カツオ資源動向及び漁具漁法について」

長崎県総合水産試験場海洋資源科 甲斐 修也 科長

「クーラーボックスを用いた活魚出荷について」

久保 満弘 青年漁業士

「壱岐市石田町における雑魚かご利用について」

五島水産業普及指導センター 吉田 政彦 主任技師

「ライフジャケットの着用について」

五島振興局水産課 宮崎 隆徳 係長

「魚礁の利用について」

五島振興局水産課 新川 貴史 技師

上五島地区漁業士会

< 食育お魚料理教室の開催 >

上五島地区漁業士会では、島内の小・中・高校生等、若い世代に漁業と魚料理に触れて親しみを持ってもらうことを目的として、お魚料理教室を開催しました。

参加した生徒らは、普段なかなか魚を捌く機会が無かったこともあり、初めはぎこちない手つきで調理していましたが、漁業士から捌き方のコツを教わりながら「アジフライ」や「ブリの刺身」、「イカと大根の煮物」、「アジのすりみ揚げ」などを作り、美味しそうに食べていました。

生徒たちからは「地域の漁業や魚について知ることができた、もっと詳しく勉強してみたい」「難しかったが、自分で捌くことが出来て嬉しかった、家でもやってみたい」等の感想が聞かれ、漁業や魚食に興味を持ってもらうことが出来ました。



漁業士による実演



すり身作り



漁業士による指導



アジフライ（完成）

開催日	開催場所	参加者数
25.10.29	北魚目中学校	18名(2年生)
25.10.30	魚目中学校	24名(2年生)
25.11.12	奈良尾中	13名(1年生)
25.11.15	若松中	29名(1年生)
25.11.26	今里小	14名(5.6年生)
26.1.21	中五島高校	21名(2年生)
26.1.22	中五島高校	23名(1年生)
26.1.29	上五島高校	27名(1年生)
26.2.23	希望の灯学園	32名(児童・生徒)

< 視察研修 定置網漁業における魚価向上 6次産業化の取り組み >

新上五島町では様々な漁業が営まれています。水揚げの減少や、魚価の低迷、燃油価格の高騰を受け漁業経営は厳しい状況が続いています。

そこで、静岡県のネクトン網代港、いとう漁業協同組合において先進的に行われている魚価向上、6次産業化の取り組みについて視察研修を行いました。



定置網漁業操業の視察



大型選別機



水産物販売店舗の視察

< お魚料理番組の放送 >

壱岐地区漁業士会では、壱岐島内で地元の水産物をもっと食べてもらうために地元ケーブルテレビと連携したお魚料理番組を放送しました。毎回漁業士自慢の旬な魚を紹介しており、平成25年度は「イサキ」、「ブトイカ(ケンサキイカ)」、「ブリ」、「サワラ」の計4回収録しました。番組は毎回1ヶ月にわたり再放送され、多くの方に見ていただきました。放送後は、「レシピを教えてください」などの問合せがあり、予想を上回る反響がありました。

1. 第1回「イサキ」 平成25年7月放送

参加者：小嶋指導漁業士

メニュー：刺身、湯引き、サラダ、塩釜焼き、炊込みご飯



漁業士の紹介



料理の試食

2. 第2回「ブトイカ(ケンサキイカ)」 平成25年11月放送

参加者：西村青年漁業士

メニュー：刺身、イカしゅうまい、イカのかき揚げ、およごし、イカとアスパラの炒め物



漁業士の紹介



料理の試食

3. 第3回「ブリ」 平成25年12月放送

参加者：吉木会長

メニュー：刺身、漬け丼、しゃぶしゃぶ、チャンチャ焼き、
ホワイトソースパスタ



漁業士の紹介



旬の魚の紹介



魚の調理



料理の試食

4. 第4回「サワラ」 平成25年3月放送

参加者：住吉指導漁業士、堤雄二指導漁業士

メニュー：刺身、タタキ、しゃぶしゃぶ、炙り寿司、炊込みご飯



漁業士の紹介



旬の魚の紹介



魚の調理



料理の試食

< 水産教室の開催 >

対馬地区漁業士会（会員25名）では、若い世代への魚食普及と水産業に親しみを持ってもらうことを目的に、対馬市や漁業協同組合などと連携して水産教室を開催しています。平成26年1月から3月に4ヶ所で、合計90名を対象に開催しました。今年度も引き続き、さまざまな水産教室を開催していく予定です。



対馬市交流センター

月日：平成26年1月23日

対象：乳幼児を持つ母親 22名

内容：魚のさばき方、料理実習

魚ば食べると、丈夫な
子供になるとばい



どうやって結ぶとかな？



佐須中学校

日時：平成26年1月29日

対象：1～3年生 生徒48名

内容：長崎の水産業の学習、
ロープワーク、料理実習



豊玉保健センター

日時：平成26年1月30日

対象：乳幼児を持つ母親 10名

内容：魚のさばき方、料理実習

太か魚ね～
私にさばけっとかな～



美津島町保健センター

日時：平成26年2月6日

対象：乳幼児を持つ母親 10名

内容：魚のさばき方、料理実習

< 第 17 回アナゴ漁業資源研究会への出席 >

平成 26 年 1 月 30 日から 31 日、東京の築地市場厚生会館において、第 17 回アナゴ漁業資源研究会が開催され、国や県、大学等の試験・研究機関や漁業者等 52 名が集いました。

対馬地区漁業士会から赤城指導漁業士が参加し、日本一のアナゴ漁獲量を誇る対馬におけるアナゴかご漁業で漁獲されるアナゴとヌタウナギについて調べた結果、アナゴの漁獲量は対馬西沖の方が多く、操業 1 回あたりの漁獲量は冬場の方が高いことを発表しました。

また、東京海洋大学からは対馬におけるアナゴ筒漁業の乗船レポートの発表があり、対馬海域のアナゴの漁獲動向に関心を持つ参加者も多く、安定したアナゴの漁を維持していくためには、今後も水産試験場等の試験・研究機関との交流を継続していくことが必要と考えられました。

アナゴ研究会とは、アナゴに関する最新の研究情報を共有することを目的に平成 9 年から始まり、年 1 回、全国の大学や国、県の試験研究機関、漁業者、流通業者等が集まりアナゴに関する情報交換が行われています。

対馬のアナゴ漁は、
日本一です



どのアナゴが、活き
がいいかな



< 第 19 回全国青年・女性漁業者交流大会への参加 >

平成26年3月4日から5日、東京のグランドアーク半蔵門において、第19回全国青年・女性漁業者交流大会が開催され、上対馬町漁協青壮年部の築城真一（顧問）さんが、魚価向上を図るための魚を高鮮度で出荷する方法の試験や東京での試食会などに取り組んだ結果について発表し、農林中央金庫理事長賞を受賞されました。

交流大会には、対馬地区漁業士会から宇津井指導漁業士、原青年漁業士、東青年漁業士の3名が参加し、上対馬町漁協青壮年部の応援と全国での先進的な取り組みについて研修しました。

みんなで頑張るぞ



素晴らしい取り組みでした。



< 漁業経営セーフティネット構築事業学習会の開催 >

平成26年1月17日、対馬グランドホテルにおいて、長崎県信漁連対馬事業所の石原所長による、漁業経営セーフティネット構築事業の学習会を開催しました。

学習会には、漁業士20名が参加し、漁業用燃油の価格高騰に対する国の特別対策について学びました。

燃油高騰で、負担が増えています。



< 対馬市市政施行10周年記念式典での表彰 >

平成26年3月1日、シャインドームみねにおいて、対馬市市政施行10周年を記念する式典が開催され、対馬地区漁業士会から阿比留会長が出席し、これまで漁業士会が行ってきた魚食普及や青年漁業者の育成などに取り組んできた活動に対する感謝状の授与が行われました。

